

地域ICTクラブ

丸亀ICTクラブの紹介

<https://marugame-ict.org>

目次

1. 丸亀ICTクラブについて

2. 活動内容、および今後の活動予定

3. オープンバッジは一生使えるポートフォリ

オ

丸亀ICTクラブについて

地域ICTクラブ



丸亀ICTクラブは香川県唯一の地域ICTクラブです。かがわ地方創生SDGs登録事業者です。

1. 丸亀ICTクラブについて

- 地域ICTクラブは、総務省が推進(※1)
- 総務省認定の地域ICTクラブは全国で65団体(2023年4月現在)
- 丸亀ICTクラブは、**香川県唯一**の認定地域ICTクラブ(※2)
(香川県を活動地域として認定)

※1 地域ICTクラブについて(総務省)

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/loT_learning.html

※2 認定団体一覧

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/loT_learning/sites/default/files/2023-01/0020230124.pdf

61番目に丸亀ICTクラブが記載されています。

地域ICTクラブ名	丸亀ICTクラブ
活動地域	香川全域
代表団体	一般社団法人丸亀ICTクラブ(法人番号:4470005006495)
事務所	香川県丸亀市城西町2-2-34 Tel: 0877-24-7185
連絡先	web_info@marugame-ict.org
代表理事	林 敏浩(香川大学情報化推進統合拠点 教授)
理事	渡邊 純一(一般社団法人ファーストスタープロジェクト理事長)
理事	井門 裕子
監事	斎藤 正武(中央大学教授)
職員数	4名
設置	2019年(丸亀ICTクラブとしての総務省認定は2022年) 2023年3月(一般社団法人化)
URL	https://marugame-ict.org/



活動内容、および今後の活動予定

2. 活動内容、および今後の活動予定

【地域ICTクラブの活動】

- ・学校外でも子供たちがプログラミングに慣れ親しむことができる
- ・地域で児童生徒と地域住民が一体
- ・地域課題解決等をテーマにプログラミング等のICT活用スキルを学ぶ

本物のICT提供をミッション

【サポートしている方】

- ・大学や学校:教育者としての立場
- ・IT企業および企業研究者:未来の技術者、研究者の養成活動

活動① プログラミング教育カリキュラムの開発

Pythonをベースとした本格的な中高生向け プログラミング教育カリキュラムを共同開発 (2020年)

※中央大学 斎藤正武教授との共同開発

※丸亀ICTクラブ正式発足前の加盟団体による任意活動

- ・クリエイティブコモンズライセンス公開(教育機関は無償利用可)
- ・本カリキュラムの普及と、中学校等での本カリキュラムを使ったSTEM教育を推進

【Pythonとは】

AIに関する研究において、大学や研究機関、企業でもっとも利用されているプログラミング言語

【メディア】

中央大学によるプレスリリース <https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/communication/press/2021/07/55523/>

ケーブルテレビ『知の回廊』のアーカイブ <https://www.youtube.com/watch?v=W3sAiUPBnL8>

活動② 子供向けワークショップ(「プログラミングで海のSDGs！」)

【プログラミングで海のSDGs！】

- ・テーマ: SDGsの「海の豊かさを守ろう」
- ・ICT(プログラミング)による社会課題解決を体験
- ・本ワークショップの修了証にオープンバッジを発行(2022年度より)

「プログラミングでSDGs」

全国を活動地域とする地域ICTクラブ「プログラミングでSDGs」と共同開催
子供向けプログラミングワークショップ

主催:一般社団法人 イエローピンプロジェクト、

共催:日本財団 海と日本プロジェクト、一般社団法人 丸亀ICTクラブ

後援:総務省、文部科学省、環境省、丸亀市、丸亀市教育委員会

2022年度の
ワークショップの様子



TAのお兄さんは、地元香川大学の学生や広島大学の大学生が担当してくれました。

日本財団の支援を受けて行っている、海の環境問題、水産資源問題などについてワークショップを交えながら学ぶイベントで、2021年から毎年9月に開催しています。

ワークショップでは、小学生の部と中高生の部に分かれていますが、中高生の部を丸亀 ICT クラブが授業を提供しています。

2021年、2022年の講演会は四国水族館館長をお招きし、プラスチックごみ問題について話していただきました。

水産資源問題では、人間が魚をとりすぎるとその魚を食べられなくなります。逆に魚が増えすぎると、魚が値崩れしたり別の社会問題が起こります。水産資源としての魚をバランスよく維持するためには、どのように考えればよいのでしょうか？

中高生の部では、Python の記法で四則演算とグラフの描画を学んだあと、水産資源のシミュレーションプログラムを使って、この問題について考えます。グラフの結果と水産資源がどのように変化していくのか、どのようにコントロールすればよいかを学びます。

2021年から始まった本プログラムは、中学1年から高校3年生まで幅広い生徒が集まりました。修了者にはなんとオープンバッジが無料で配布されます。本イベントは、総務省、文部科学省、環境省、丸亀市、丸亀市教育委員会の後援をいただき、参加者は参加費無料で受講できます。

活動③ 子供向けプログラミング教室の開催

- ・Pythonを使ったプログラミング教育の実施
- ・指導者に、中央大学斎藤正武教授 や、山本幸太郎氏

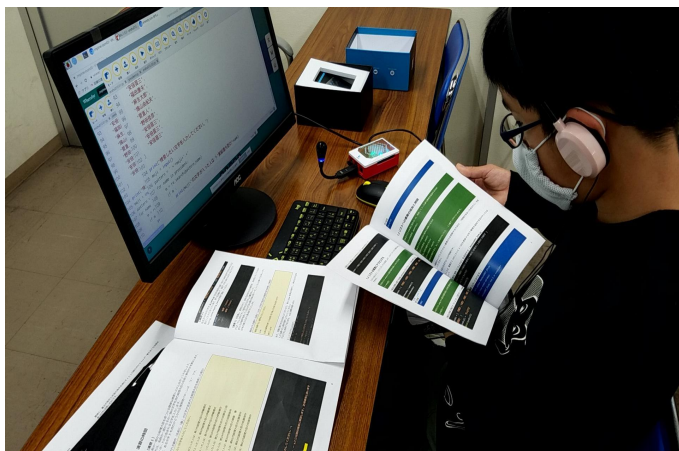
★山本幸太郎氏(想隆社代表)

電子情報通信学会でプログラミング言語論を担当し、企業のエンジニアに研修を行っている

- 2021年 丸亀開講
- 2022年 オンライン開講(春季)
- 2022年 丸亀+オンラインのハイブリッド

※本年度は2025年10月4日より
ひまわりセンターにて対面にて隔週土
曜日開催中

オンライン開講では、香川県だけでなく東京の中学生の参加もありました。



活動④ 地域交流会(2022年12月)

2022年12月6日、丸亀マルタスにて地域ICTクラブの交流会を開催。

総務省よりご担当者をお招きし、地域ICTクラブを軸として産学官の連携がどのように可能かを探りました。

テーマ:「新たな地域ICTクラブの立ち上げと持続的な活動について」

地元の教育関係者、ICT/プログラミング教育関係者が主たる参加者となり、活発な議論ができたと思います。

交流会後の懇親会は近くのお洒落なカフェでコーヒーを飲みながら、様々な方たちと情報交流でき、有意義な時間となりました。



<https://marugame-ict.org/event/report/275/>

活動⑤ 企業向けセミナー・講演(公益社団法人 日本印刷技術協会セミナー)

コピペで使える AI・デジタル技術入門講座(2023年)

業務で AI やデータサイエンスをどのように導入したらよいか迷っている企業、業界団体は少なくありません。

例えば印刷業界において、どのように AI を導入すればよいか、現在の AI の状況から導入事例までを全5回で解説しました。

- AI を使って画像生成し、これまで参入できなかったコンテンツビジネスに参入する事例、その具体的な設備導入の方法
- WEB 広告におけるコンバージョンを予算と過去データから割り出し、最終目標に向けてテコ入れしたりする予測モデルの構築など

業界団体、企業様それぞれにおいて時間や回数、予算に応じてセミナーを組み立てます。

講師は大学の非常勤講師や研究員の経験をもち、大手メーカーの社員を対象に AI やデータサイエンスの授業も提供している丸亀 ICT クラブの法人会員企業から派遣されます。

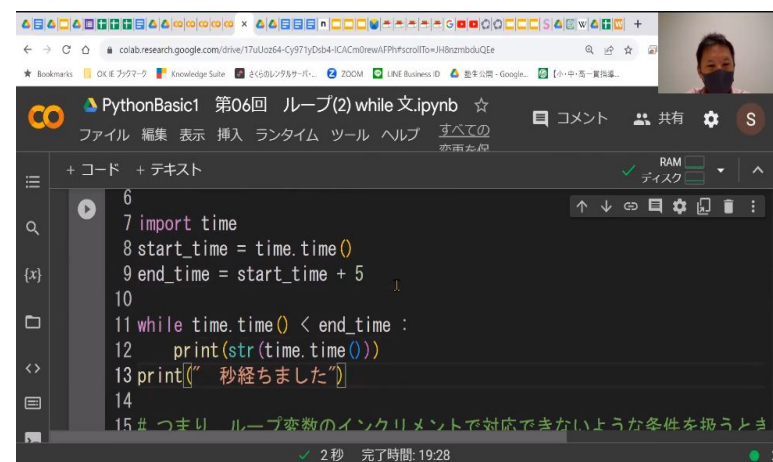
活動⑥ 本格派 Python プログラミング教室 m.PIME (2021年より毎年開催)

丸亀 ICT クラブが、隔週土曜日に行っている **m.PIME** は、Python の基礎的な内容を学ぶ、対面形式のプログラミング教室です。

これからの世代を担う世代に対して本格的なプログラミング言語である Python を採用して、学校ではない「学び」の機会を提供しています。

中学生、高校生から高校教員までが参加し、それぞれ Python を学び楽しむことを通じて、プログラミング教育について探究しています。

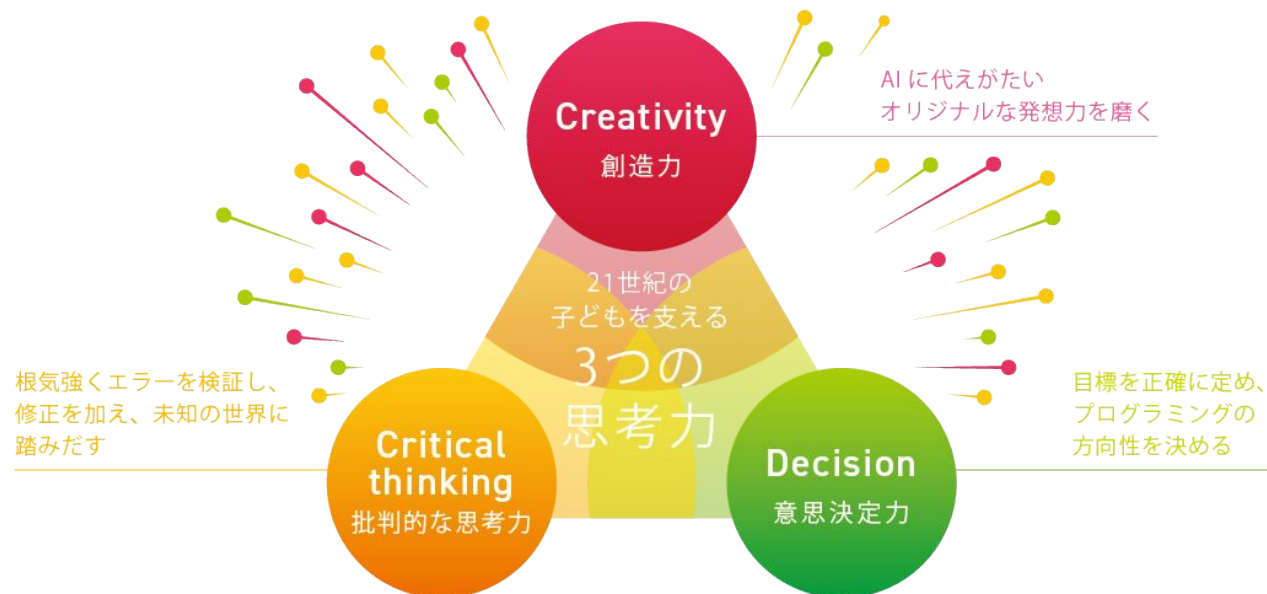
本カリキュラムは、大学と丸亀 ICT クラブの法人会員企業が共同で研究・開発しました。ベーシック講座は、120分×全10回の構成ですが、企業や学校向けに短縮したり、教材のみ等様々な形態で提供が可能です。



m.PIME(エムドットパイン)の紹介

「今ある職業の8割がなくなる」という意見も聞かれる現代。当否はともかく、“ミレニアル”と呼ばれる若年層は、生まれた時からネット環境があり、動画サイトのバーチャルスターに声援を送る世代です。加えて「新しい生活様式」までもが到来し、オンラインの就業・就学など、ひとりひとりが新しいスタイルを見出す必要が出てきました。誰も予想が付かない時代には、自律的な知性が大切になってきます。そこで私たちは「3つの思考力」に重点を絞り、プログラミングを通じて子供たちに“学び”を伝えることとしました。

長年の指導経験を通じて、私たちは「子供の発想力」を驚異に思いつつも、既存の教育の枠組みにもどかしさを感じてきました。私たちは、プログラミングが「教育の基盤」になりうるものと信じています。プログラミングには古い枠組みを取り去り、本当の「未来に向けた教育」を提供することができる力があると確信しています。



m.PIMEの受講対象者

- 最先端のプログラミングに興味のある中学生・高校生・大学生・社会人の方
- 最先端のプログラミングの基礎から学びたい中学生・高校生・大学生・社会人の方
- 中学数学を先取り学習していて、最先端のプログラミングに興味のある小学生
- 中学校、高等学校、大学などで「情報」の指導をされている先生
- 学習塾、予備校などの先生

m.PIMEのレベル・難易度

初歩の初歩～最先端のディープラーニングまで幅広く

- プログラムをしたことがない
- 本を一冊買ってみたが挫折した
- 会社で業務効率のために一人DXをはじめてみたい。

活動⑦ 専門学校への授業カリキュラム・教材提供・実際の講義演習指導 (企業、学校法人向け)

丸亀 ICT クラブの法人会員には IT 系専門学校に授業を提供している企業もあります。これらの企業からは、本格的な通年のデータサイエンス・AI の授業も提供可能です。

例) 愛媛県の専門学校に 2 年機械学習 I II、3 年ディープラーニング・データマイニングのカリキュラム提供(全120回)

講義・指導・現役の企業エンジニアからディープラーニングを学ぶということが実現しています。

・香川県ではなじみのない出前授業を中学や高校に予定

活動⑧ 地元企業・団体のICT支援

例： 観音寺歯科医師会様

香川県、歯と口の健康週間行事(2023年5月30日～6月30日)において、来場者の予約管理システムの構築やICTシステムを使った管理についてアドバイスをさせていただきました。

アドバイス、支援の中には、具体的なシステム開発も含まれています。

企業や団体がどのようにDX化すればよいか、ICT研修をすればよいかアドバイスします。

例：

- 入社10年目までの技術者向けにディープラーニングの研修をしてほしい。
- ICTで工場の生産管理の効率をあげたい

丸亀 ICT クラブ 法人会員企業紹介 教育科学研究社(稲伸ゼミナール)



四国香川県で35年。子どもたちに「より寄り添う」学習塾を営んでいます。目まぐるしい時代の変化をしなやかに乗りこなすことのできる、基礎にして最先端の学究心を日本最小の香川県から発信しています。<https://www.toshin-group.co.jp/>

株式会社想隆社



大学等の研究機関からのシステム開発を得意とするシステム開発会社です。大学、研究機関、企業等からの依頼を受けて、新規技術、新商品の開発等を行っています。自身も大学の中の産学連携施設にオフィスを持ち、最先端研究を大学とともに行っています。

<https://soryu-sha.jp>



オープンバッジは
一生使えるポートフォリオ

オープンバッジについて

オープンバッジとは、ブロックチェーンと呼ばれる技術を使った、知識やスキルを証明する世界標準規格のデジタル証明書です※。

これまで、日本の教育制度、特に大学の教育課程は入るのは難しいが、出るのは簡単だといわれてきました。それが、近年、何を、どれくらい学んだかという「アウトカムベース」の教育評価に変わっています。

このように大学でも、何を学んだかということは、ますます重要視されており、国内の大学では、東北大学、早稲田大学などが、修了者に対してオープンバッジを発行するようになりました。数学検定などもオープンバッジの加盟団体であり、今後、様々な資格や教育課程の修了に利用されていくと考えられます。

丸亀ICTクラブのワークショップの修了者には、無料でオープンバッジの発行団体であるファーストスタープロジェクトからバッジを発行することがあります。※2

オープンバッジは、インターネット上で自分の受けた教育課程や資格を公開することができます。一生使える証明書です。アカウントを作成し、あなたの今後のバッジを証明できるスペースをインターネット上に作り、本ワークショップのバッジをその1枚目にしましょう。

※1 <https://www.openbadge.or.jp/>

※2 一般財団法人オープンバッジ・ネットワークの加盟団体です。

オープンバッジについて

オープンバッジは、ウォレットというインターネット上のスペースに作られ、管理されます。ウォレットは、一般財団法人オープンバッジ・ネットワークの加盟団体である株式会社 Lecos が管理しています。

【バッジ受領までの流れ】

最初に登録したメールアドレスへ、バッジが受領できる通知が届きます。



受講者が、受領の確認ボタンを押します。



初めてオープンバッジを受け取る人は、新規のウォレット制作画面が出ます。



この画面には、最初のメールアドレスが表示されています。



名前と自分で決めたパスワードだけを入力します。



確認後、送信ボタンをクリックします。

オープンバッジについて

↓
ウォレットのアカウント認証が完了します。
↓
約1日お待ちください。ブロックチェーンの書き込みをしています。
↓
発行完了のお知らせが届きますので、ウォレットにログインしてください。

オープンバッジについては、一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク
による以下の動画がとても分かりやすいです。ご覧ください。

<https://youtu.be/26Wj3AAWsg0>



オープンバッジウォレットの作り方 ユーザーガイド、FAQ

<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/10XeCC3KtGeNnPRwjHkXEZOJM0od41MIO>



本活動を支援くださる
法人様(企業様、団体様)を募集中です。

詳しくは

https://marugame-ict.org/sanjo_member/

をご覧ください。

丸亀ICTクラブは、これからの未来の学びを応援して
いただきたく、地元香川の企業、学校法人様の加盟を
お待ちしております。

下記までお気軽にお問合せください。

web_info@marugame-ict.org

